



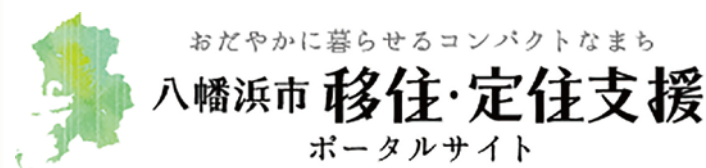
YAWATAHAMA IJU GUIDE

BOOK Vol.1



移住に役立つ情報を WEB でチェック

移住や定住情報の窓口として、関連する情報をまとめています。また、スマートフォンやタブレットからも見やすいものとなっていますので、ぜひご覧ください。



移住・定住支援ポータルサイト

<https://yawatahama-iju.com/>



お問い合わせ先

八幡浜市へ実際に移住した相談員が、移住者目線でご相談をお受けできます。お気軽にお問い合わせください。また、首都圏在住の方は東京の相談窓口もご利用ください。

【やわたはま移住相談窓口】

●政策推進課 地域づくり支援係内
愛媛県八幡浜市北浜1丁目1-1 八幡浜庁舎 5階
☎0894-21-0413 受付時間 月～金曜日（祝日、年末年始休業）8:30～17:15
✉iju-shien@yawatahama-iju.com

【首都圏在住の方の相談窓口】

●愛媛ふるさと暮らし応援センター
東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館 8階（ふるさと回帰支援センター）
☎03-6273-4401 受付時間 火～土曜日（祝日、年末年始休業）10:00～18:00
✉ehime@furusatokaiki.net



八幡浜市へのアクセス

飛行機（松山空港）をご利用の場合

札幌（千歳）—愛媛（ANA）	【2時間10分】
東京（羽田）—愛媛（ANA・JAL）	【1時間25分】
東京（成田）—愛媛（Jetstar）	【1時間40分】
大阪（伊丹）—愛媛（ANA・JAL）	【50分】
大阪（関西）—愛媛（Peach）	【55分】
名古屋（中部）—愛媛（ANA）	【1時間10分】
福岡（福岡）—愛媛（JAC）	【45分】
鹿児島（鹿児島）—愛媛（JAC）	【60分】
沖縄（那覇）—愛媛（ANA）	【1時間50分】

JRをご利用の場合

松山駅⇄八幡浜駅	【特急50分】
----------	---------

フェリーをご利用の場合

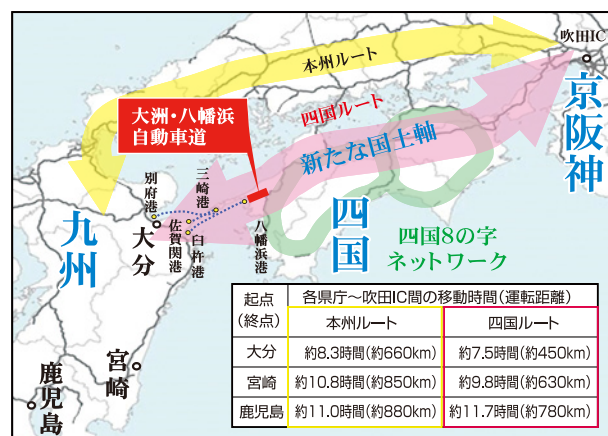
別府⇄八幡浜（宇和島運輸フェリー）	【2時間50分】
臼杵⇄八幡浜（九四オレンジフェリー・宇和島運輸フェリー）	【2時間25分】

車をご利用の場合

松山市中心部から（高速道路利用）	【約1時間20分】
------------------	-----------

バスをご利用の場合

東京・名古屋・大阪と八幡浜を結ぶ高速バス（夜行便）が運行しています。また大阪との高速バス（昼行便）や松山空港シャトルバスも発着しています。



八幡浜港は、3000t級のフェリー便が1日20往復就航し、年間約70万人が利用しています。

現在整備中の大洲・八幡浜自動車道は、単に松山方面へ結ばれるだけでなく、対岸の大分県から八幡浜港～四国内の高速道路～本州四国連絡高速道路を経由し京阪神に至る、新たな国土軸を形成する重要な路線として事業がすすめられています。

八幡浜市とは？

八幡浜

やわたはま

四国・愛媛県の南西部に位置する八幡浜市は、太平洋の黒潮が流れ込む宇和海に面し、四国有数の魚市場には豊富な魚が水揚げされています。

また、海に面する段々畑では、国内有数の美味しいみかんが育ちます。

海の色と山の色が鮮やかな対照をなす自然豊かでコンパクトなまちです。

東経132度25分32秒 北緯33度27分34秒（八幡浜庁舎）東京と比べ7度の差があり、夜明けと日没ともに28分ほど遅くなります。



みかん

リアス式海岸で急峻な地形に、先祖代々石を積み上げて段々畑が作られてきました。

「空からの太陽」「海から反射する太陽」「段々畑の石垣から反射する太陽」の3つの太陽を豊富に浴びて栽培される「日の丸」「真穴」「川上」「みつる」などのブランドみかんを筆頭に、品質・生産量ともに全国トップクラスです。

さかな

豊かな漁場に恵まれている八幡浜には、四国有数の水揚げを誇る魚市場があります。旬のさかなが回遊してくる宇和海や、豊後水道などの漁場を舞台に、古くから八幡浜港は栄え、年間200種類以上の魚が水揚げされます。豊富な種類のさかなを利用した蒲鉾やじゃこ天などの練物製品が多いのも特徴です。

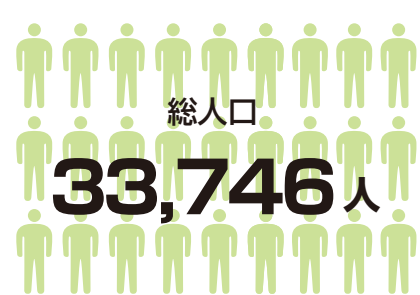


歴史・文化

明治に入り県下有数の商都として栄えた八幡浜地区には、往時の面影を残す建物が多く存在します。保内地区にも赤レンガ倉庫や擬洋風建築など、近代の繁栄をしのばせる町並みが残されています。現在も利用されている国指定重要文化財の日土小学校をはじめ、近代モダニズム建造物も多く残っています。



人口数



性別	人口数
男	15,746人
女	18,000人

(H31年2月末 住民基本台帳調べ)

世帯数

16,116世帯 (H31年2月末 住民基本台帳調べ)

生活インフラ



下水道普及率
(公共下水・水洗化率)
75.1%
四国内の市で1位

光インターネット
市内全域接続可
100%
※離島を除く

市内全域
LPガス

气候

四季を通じて温暖で暮らしやすい。
東部や山間部は沿岸部と比べ寒暖の差が大きい

平均気温

八幡浜市

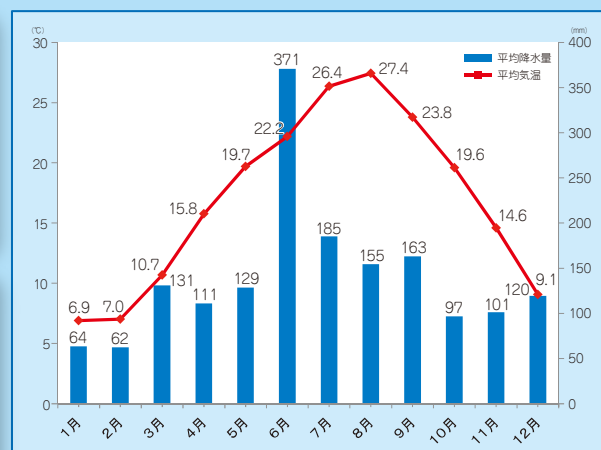
16.9°C

東京 16.5℃
大阪 17.2℃

平均降水量

八幡浜市
1687.7mm

東京	1789.5mm
大阪	1460.2mm



※H26 年～H28 年の平均



二つの市街地 それぞれの徒歩圏内に、生活に便利な機能が集約

● 車がなくても生活できる

フェリー乗り場から八幡浜 IC に続く臨港道路には、道の駅「みなと」や魚市場、ショッピングセンター、スポーツセンター、温泉施設等が徒歩 10 分圏内に並んでいてとても便利です。
また、八幡浜エリアの中心部には全長約 500m のアーケード商店街があり、周辺には居酒屋などの飲食店が多数店を並べています。

● 松山市へもほどよく近い

県庁所在地であり四国最大の都市松山市までは、JR 八幡浜駅から約 50 分で行くことができます。(特急利用の場合)
車の場合は約 1 時間 20 分で行くことができます。(高速道路利用の場合)

● 新鮮な天然魚介類や高品質のかんきつ類があります

早朝に宇和海で獲れた天然の魚介類が並ぶ「どーや市場」や、日本を代表するブランドみかんや季節に応じた様々な柑橘を販売する JA の直売所「甘柑日和」があります。

● 海と山に囲まれた暮らし

海と山に囲まれた地形のため、少し郊外へ移動すればのどかな自然が残る地域が多く、自然を感じながら不便なく生活することができます。



● 都市の便利さを持つコンパクトなまち

海と緑に囲まれ、身近に自然がありながら、ぎゅっと生活機能が集約された居心地、住みやすさ抜群の八幡浜で、ゆったりと暮らしてみませんか？



コンパクトなまち



● 特徴のある2つの市街地エリア

港町として栄え飲食店が多く、行政機関の集まる八幡浜エリア。奥座敷として歴史的な建物も多く、文化的景観が形成される静かな保内エリア。
両エリアは高規格道路でつながっていて、車があれば短時間で移動できます。

移動時間の目安

- JR八幡浜駅→道の駅みなと 徒歩約 20 分
- 道の駅みなと→八幡浜庁舎 徒歩約 8 分
- 八幡浜市中心部→保内庁舎 車 約 10 分



八幡浜移住への8のステップ

移住に向けてまずはどんなことをしたらいいの？という方へ8のステップをご案内します。



STEP.1 家族に相談しよう

移住したいと思ったら、まずは家族に相談しましょう。どんな環境で何をしたいか、どんな生活を送りたいか、具体的に考え話し合うことが大切です。



STEP.2 地域を探そう

移住の目的を再確認したら、判断基準となる条件をリストアップし、希望が実現できる地域を探しましょう。同じ市内でも場所によって生活環境が異なるので、条件に優先順位をつけておくこともお勧めします。



STEP.3 情報を集めて相談しよう

住みたい地域について情報収集してみましょう。自身の希望に合う地域があるか、東京や大阪で開催している移住検討者向けの相談会や八幡浜市の移住相談窓口にも気軽にお問合せください。



STEP.4 現地に行ってみよう →p.9-10 支援制度①へ

インターネットでの情報収集だけでなく、まずは実際に現地を訪れ、その土地の雰囲気を感じてみましょう。体験ツアーへの参加や、お試し暮らし助成金をご活用ください。



STEP.5 仕事を探そう →p.9-10 支援制度①、⑩～⑪へ

生計を立てる手段を決めましょう。当市ならではの仕事があります。ハローワークや愛媛の求人・移住情報「あのこの愛媛」などの求人サイトを参考に相談してみましょう。起業を考えている場合でも利用できる支援制度などの情報収集は怠りなく。また、当面の生活費を準備しておくこともお勧めします。



STEP.6 住まいを探そう →p.9-10 支援制度①～⑨へ

空き家バンクや不動産情報から条件にあった住まいを探しましょう。見つからない場合は、市営住宅なども視野に入れてみましょう。空き家を取得した場合、修繕・リフォームに費用がかかることもあるので、事前にしっかり確認しておきましょう。 ※県外からの移住者には改修補助制度があります。



STEP.7 移住しよう

移住先が決まったら、引っ越しや学校・保育園・幼稚園の手続きなどを進めていきましょう。



STEP.8 地域に溶け込もう →p.9-10 支援制度⑫～⑲へ

移住成功の鍵は、地元の人との信頼関係。まずは区長（町内会長）やご近所への挨拶を行いましょう。また、地元の集まりや行事に参加することが、早く地域に溶け込むポイントとなるので、積極的に顔を出して交流を図りましょう。地域の情報などは、移住ポータルサイトにも掲載しています。



●特産品が並ぶ直売所も豊富

道の駅八幡浜みなっには魚市場に隣接する海産物直売所「どーや市場」や産直・物産「アゴマルシェ」があります。また、近くにはJAが運営する直売所「甘柑日和」もあり、年間を通じて新鮮な魚介類やかんきつが並んでいます。



●みかん王国えひめのプライスリーダー

八幡浜市の温州みかんの生産量は愛媛全体の38.5%ですが、生産金額では52.0%を占めています。（平成25年度）全国の温州みかんの総生産量の中では八幡浜産はわずか4%ですので、その希少性もあり全国のみかんの市場価格を決めるプライスリーダーとなっています。



●四国有数の水揚げを誇る魚市場

八幡浜港は豊かな漁業に恵まれており、四国有数の水揚げを誇る魚市場があります。年間を通じ200種類以上の魚が水揚げされ、それら豊富な種類の魚を利用し蒲鉾やじゃこ天などの練物製品もたくさん作られます。



●人気のかんきつも入手しやすい

八幡浜ではブランドみかんの他にも、愛媛県のかんきつ類の主要品種であるデコポン（不知火）と、愛媛県オリジナル品種である甘平（かんぺい）の収穫量は県内トップ。その他、せとか、はるか等、季節に応じたかんきつをお手頃な価格でJA直売所「甘柑日和」等で購入することができます。

おいしい海の幸、山の幸
新鮮な魚介類や高品質なかんきつが
身近に手に入ります。

子育て

⑫ 子ども医療費助成制度

未就学児および児童生徒の保険診療における医療費の一部（自己負担分）を助成

児童生徒（小学生・中学生）			未就学児
			
入院	通院	歯科通院	通院・入院
無料※1	児童1人ごと、同一診療月分の自己負担額から3,000円を差し引いた額を助成	無料※2	無料※1

※1 入院時の食事代は対象外となります

※2 歯科通院における調剤（歯科医師処方）も助成対象

⑬ 病児・病後時保育事業

病気などにより保育所や小学校などへ行くことができない場合に、一時的に専用の保育室でお預かりする事業です。

※病状が安定しており、入院の必要がない回復期であること。

⑭ 愛顔の子育て応援事業

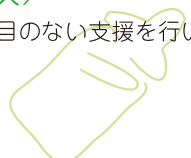
第2子以降のお子さんの出生世帯に、県内紙おむつメーカー3社の紙おむつを購入することができる「愛顔（えがお）っ子応援券」を交付

⑮ 子育て世代包括支援センター（子育てに関する相談） 2019年10月開設予定

妊娠期から就学前の乳幼児の子育て期に至るまで、関係機関と連携を図りながら、切れ目のない支援を行います。

⑯ ブックスタート事業

4か月の健康相談時に絵本を進呈



医療

⑰ 不妊治療費助成事業

一般不妊治療…医療保険が適用されない人工授精に要する費用の一部を助成

特定不妊治療…体外受精・顕微授精、および特定不妊治療の一環として行われた男性不妊治療に要した費用において、県の助成金に上乗せする形で助成

※ただし、妻の年齢要件等基準あり



結婚

⑱ 愛結び事業

えひめ結婚支援センター協力のもと、会員制お見合い事業システム「愛結び」を利用できるコーナーを設置し、結婚を希望する男女の個別の出会いをサポートします。

⑲ 結婚新生活支援事業

新婚世帯の新居の住居費（購入・賃借に要する経費）、引越費用の一部について補助

※ただし、所得の条件を満たす必要あり



支援制度について

NEW!

移住体験

① お試し暮らし助成金

八幡浜市への移住・定住を目的として、住居や仕事を探す活動などで、市内の宿泊施設を利用する場合に1泊につき、1人当たり3,000円を助成します。（同行者1名）

すまい



【すまいを探したい・建てたい】

② 空き家バンク

市空き家バンク登録物件について不動産事業者が売買や賃借に向けた具体的な相談、仲介を行います。

※移住・定住ポータルサイト内に専用のページを設けています。（スマートフォンからも見るができます）

③ 市営住宅

移住したいけど空き家が見つからない、予算が合わない、そのような時は『市営住宅』の入居もご検討ください。（年2回、7・1月に募集）

八幡浜市の市営住宅は移住者でも入居することができます。

住民票をまだ移していないでも申し込むことができます。（入居時は必要）

※所得基準を満たす必要あり

④ 県営住宅

事前に申し込みし空きが生じた場合に、入居順位により入居できます。（2月に募集）

※入居の受け付けは、2月以降も随時可。

※所得基準を満たす必要あり

⑤ 南予産材利用木造住宅建築促進事業

南予地域で生産、加工された木材を使用した木造住宅を新築又は購入される場合に、その経費の一部を補助

【すまいを直したい】※補助制度は重複して使用できない場合があります。

⑥ 移住者住宅改修支援事業補助金

県外からの移住者を対象に、空き家バンク等を通して購入・賃借した住宅の改修・家財道具搬出費用の一部を補助

※空き家バンクに登録されている一戸建て住宅を購入し、改修工事を行う際にフラット35の借入金利を一定期間引き下げる制度もあります。

⑦ 住宅リフォーム等補助金

所有し居住する築後10年以上が経過している住宅のリフォーム又は増改築を行った場合に工事費の一部を補助

⑧ 空き家バンクリフォーム等補助金

空き家バンクを通して購入・賃借した住宅のリフォーム・工事費の一部を補助。

⑨ 木造住宅耐震診断補助事業

認定を受けた建築士事務所が基準に基づき耐震診断を実施した場合に対象経費の一部を助成

しごと

⑩ 漁業新規就業者支援事業補助金

漁業後継者には月額5万円、新規就業者には月額10万円を予算の範囲内で交付



⑪ 就農支援制度

JA・県・市町職員で組織する「西宇和みかん支援隊」や農家による「支援チーム」が就農を全面的にサポートします。「短期研修（5～10日）→実践研修（1～2年）→就農」と段階に応じて様々な補助が受けられます。

市独自の補助の例：Iターンの新規就農者（45歳未満）に年額50万円を最大3年間支給します。



（西宇和みかん支援隊）

H30.5 時点

小学校名	児童数	放課後児童クラブ
松蔭小学校	112人	●
白浜小学校	166人	●
江戸岡小学校	149人	●
神山小学校	203人	●
千丈小学校	118人	●
日土小学校	80人	
真穴小学校	49人	
川上小学校	37人	
双岩小学校	31人	
喜須来小学校	152人	●
川之石小学校	114人	●
宮内小学校	210人	●

H30.5 時点

中学校名	生徒数
愛宕中学校	138人
八代中学校	247人
松柏中学校	110人
真穴中学校	22人
保内中学校	264人

H30.4 時点

高等学校名	学科・生徒数
県立八幡浜高校	普通科 463名
	商業科 112名
県立八幡浜工業高校	機械土木工学科 111名
	電気技術科 111名
県立川之石高校	総合学科 337名

はまっこ



八幡浜市では、平成29年4月より子育て支援課を新設し、子育て世帯の育児の負担感・不安感を少しでも減らし、子育てのしやすいまちを目指し取り組んでいます。

平成31年4月には病児・病後児保育施設「キッズケア・しらはま」がオープンし、さらに10月には妊娠期から就学期前に至るまでの切れ目のない支援を関係機関と連携を図りながら行う「子育て世代包括支援センター」の開設を予定しています。



 9施設

保育所名	定員※2	所在地	開所時間※1	対象年齢	延長保育	その他
白浜保育所	150	裁判所通り	7:30～18:30	0 歳	最長 21:00 まで	休日保育有
神山保育所	80	五反田湯島	7:30		—	—
千丈保育所	70	木多町			—	—
愛宕保育所	70	大門			—	一時預かり有
双岩保育所	30	若山			—	—
川上保育所	30	川名津		18:00	6 歳	—
真穴保育所	40	真網代	—		—	
日土保育所	40	川辻	—		—	
保内保育所	220	保内町宮内	7:30～18:30		最長 19:00 まで	一時預かり有

※1 土曜日の開所時間は 7:30 ～ 12:00 です（白浜保育所、保内保育所以外）
 ※2 定員は H31.4.1 時点の定員です。

5園

幼稚園名	定員	所在地	時間	給食	預かり保育
神山幼稚園（市立）	70	五反田	9:00	有	—
保内幼稚園（市立）	70	保内町宮内		有	—
八幡浜聖母幼稚園（私立）	60	昭和通り	14:00	週2回有	有
八幡浜幼稚園（私立）	60	本町		週2回有	有
日土幼稚園（私立）	35	日土町		週3回有	有

医療・健康

八幡浜市内には、平成29年3月に完成した市立八幡浜総合病院をはじめたくさんの医療施設や介護施設があります。高度救急医療が必要な場合は、屋上ヘリポートを備えた市立総合病院などからドクターヘリにより松山市にある県立中央病院などへ搬送されます。

また、市内には小児科や眼科を含む医療機関が約40ヶ所、歯科医院が17ヶ所、薬局が約30ヶ所あります。

(H31.4月時点)



医療機関 (20床以上) **5**ヶ所
一般診療所 **37**ヶ所
 (下記含む、歯科以外)

小児科 **4**ヶ所

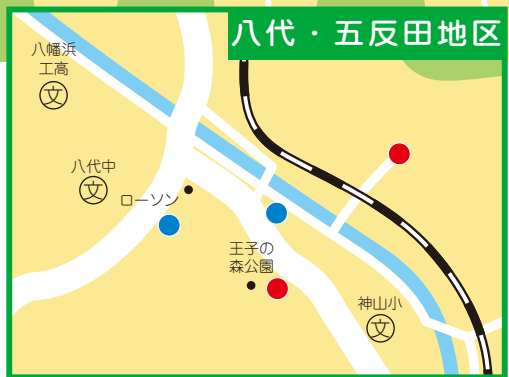
産婦人科 **1**ヶ所
 ※分娩は取り扱っていません。(H31.4月時点)

眼科 **4**ヶ所

整形外科 **4**ヶ所

歯科 **17**ヶ所

薬局 約 **30**ヶ所



救急医療について

平日夜間(20時～23時)及び日曜祝日(9時～18時)は、一次救急休日・夜間診療所が対応します。(内科)※当番医が対応する日も有り。

小児科の日曜・祝日当番医(9時～18時)は、近隣の自治体との連携・ネットワーク型の広域救急医療体制で対応しています。また、夜間に突然、子どもの具合が悪くなったときは、小児救急電話相談により、看護師または医師が応急処置などをアドバイスします。

市民スポーツセンター

えひめ国体・えひめ大会のバレーボール(成年男子)やカローリングの会場にも使用され、天井開閉式展望温水プールや各種トレーニングルーム・ランニングコース等を備えています。その他、温浴施設を備えた民間のフィットネスジムなどもあります。



健康ウォーキングマップはまウォーク

「健康」のまちづくりを進める八幡浜市では、八幡浜みなつとを起点としたJR八幡浜駅まで続く千丈川沿いの道等、4つのウォーキングコースを整備し、道標として地元のソウルフード「八幡浜ちゃんぽん」を広めるために誕生した「はまぽん」と、特産品のかまぼこをモチーフにしたペット犬の「かまワンちゃん」をデザインしたパンフレットを作成し配布しています。



ワンコインがん検診

平成22年度より医療保険の種別に関係なく、自己負担額を一律500円としたワンコインがん検診を実施し、がんの予防と早期発見・治療につなぐ取り組みをしています。



住居探しをサポートします！ 空き家バンクに掲載した物件の一部をご紹介します！

市内にはたくさんの空き家があり、所有者等からの申請を受けて、空き家バンクへ掲載しています。
移住・定住支援ポータルサイトの中の空き家バンクでは、間取りや設備などの詳細を掲載しています。
詳しくは、ポータルサイト内の「空き家バンク情報」をご覧ください。※条件からも物件を検索できます。

●車が無くても生活できる！まち暮らし物件

賃貸物件



まち暮らし

静かに暮らせるリフォーム済みの管理良好賃貸物件!!
3.5万円 / 3DK
#車庫付き #水洗トイレ

売買物件



山暮らし まち暮らし

健康生活！市立病院近く、高台の一軒家!!
380万円 / 5DK
#庭付き #車庫付き #水洗トイレ #ペット可

売買物件



まち暮らし

ひろびろゆったり、部屋数多数の街なか物件
480万円 / 7部屋 / 7DK
#庭付き #車庫付き #ペット可

●静かにのんびり暮らす！田舎暮らし物件

売買物件



海暮らし 山暮らし

瀬戸内海を望む見晴らし良好物件
530万円 / 4部屋 / 3DK
#菜園付き #庭付き #水洗トイレ #ペット可

売買物件



山暮らし

広い敷地の平屋建て！憧れの古民家暮らしを手に入れませんか!?
1370万円 / 9DK
#菜園付き #庭付き #車庫付き #水洗トイレ #ペット可

売買物件



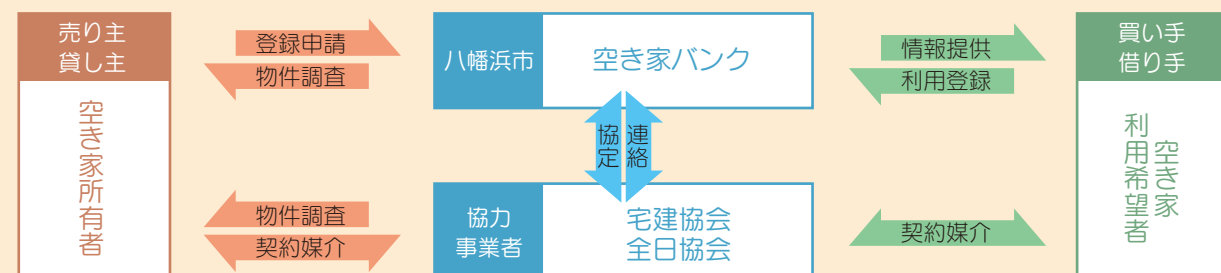
海暮らし

目の前に広がる瀬戸内海！母屋と離れのある敷地ひろびろゆったり物件
450万円 / 母屋4K 離れ4DK
#菜園付き #庭付き #倉庫付き #水洗トイレ #ペット可

※交渉中又は契約済みの物件も掲載しています

空き家バンクの仕組み | 八幡浜市 移住・定住支援ポータルサイト

市内に空き家をお持ちの方に物件をご登録いただき、空き家の利用を希望する方にその情報を提供しています。
空き家等の有効活用を通して、本市への定住促進及び地域の活性化を図ることを目的としています。



「利用希望登録」をすれば、空き家バンクを利用できます！

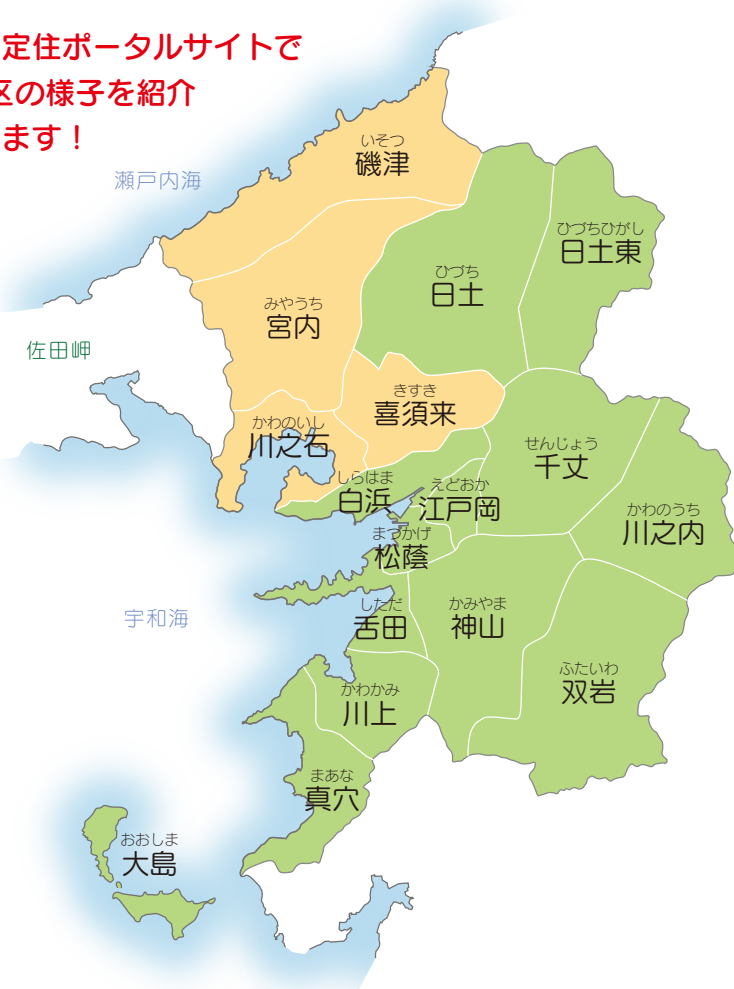
移住先となる 地区について

移住先として八幡浜市を選んだら、次は希望の暮らしが実現できそうな地域を探してみよう。

八幡浜市は「八幡浜（やわたはま）エリア」と、「保内（ほない）エリア」の大きく二つに分けられます。一番遠い地域でも中心部より車で約25分です。

各地域には、海と山に囲まれた農村の美しい景観、豊かな自然や独自の風土が残っています。その一方で、中心部は車が無くても生活は可能で、都会から移住しても不便は余り感じないでしょう。まずは、中心市街地で仮住まいしてから、理想の地域や空き家をじっくり探す方法もおススメです。ぜひ、実際に現地を訪れ、その土地の雰囲気を感じてみてください。現地の方からお話を聞くこともできますので、お気軽にご相談ください。

移住・定住ポータルサイトで 17地区の様子を紹介 しています！



白浜地区	4,362 人
松蔭地区	3,585 人
江戸岡地区	3,111 人
神山地区	4,685 人
千丈地区	2,837 人
舌田地区	652 人
川上地区	957 人
真穴地区	1,172 人
双岩地区	1,522 人
日土地区	1,304 人
日土東地区	434 人
川之内地区	292 人
大島地区	244 人
喜須来地区	2,758 人
川之石地区	2,830 人
宮内地区	3,575 人
磯津地区	535 人

(H27 年度国勢調査より)



日土東地区



川上地区



江戸岡地区



農業は修業中、住まいも現在進行中

購入した家は傷みが激しく、そのままでは住める状態でなかった。そこで県や市からの補助金と自分たちの蓄えから予算を組み、水回りを中心に住宅施工業者に家の補修を「予算内で収まる部分まで」依頼した。「フローリングはリビングまではプロに任せ、それ以外は自分たちで貼りました。」農作業の合間に、自分たちで壁に漆喰を塗ったり、棚をつけたりと、夫婦でのリフォームを楽しんでいる。

購入した家は傷みが激しく、そのままでは住める状態でなかった。そこで県や市からの補助金と自分たちの蓄えから予算を組み、水回りを中心に住宅施工業者に家の補修を「予算内で収まる部分まで」依頼した。「フローリングはリビングまではプロに任せ、それ以外は自分たちで貼りました。」農作業の合間に、自分たちで壁に漆喰を塗ったり、棚をつけたりと、夫婦でのリフォームを楽しんでいる。

まだまだ修業中でわからないことも多いという二人だが、熟練農家の方々は、忙しい中でも若い二人に手間を厭わず教えてくれ、感謝の念が尽きない日々を過ごしている。



- ※1 かんきつ農家志望者やかんきつ農家のアルバイト（援農）希望者などに情報提供と就農・援農までの総合的なサポートを行う。JAにしうわに事務局を置く。
 ※2 みかんの里宿泊・合宿施設「マングリン」。廃校となった小学校の校舎を転用し、みかん収穫期のアルバイトや農業研修者の宿泊施設として整備したもの。

気になる移住のホンネ教えて！

Q1 移住を考えるにあたって大切にしていたことはなんですか？

最初から2人で相談しながらすすめることです。いっしょにできる仕事があったので、カフェや雑貨屋さんをやるのもいいなと思っていました。また旅行が好きでいろんな所を見てきたので、いいところに住みたいなとも。

Q2 困ったこと、不安なことはありますか？

新規就農者への補助金（5年給付）が打ち切られた時に、自営だけでやっていけるのか？ということです。逆にそれを目標に、努力していきたいと思っています。

Q3 移住を考えている人にアドバイスしたら？

つらい事、くじけそうになったときは、初心を思い出してください。何を一番大切にしたいのかを考えれば、おのずと道は定まります。真穴地区の海に心ひかれた移住者は、海を一番考えます。私たちは2人であることが一番なので、そのためなら頑張れました。

八幡浜市
移住担当者
からひと言

児嶋さん夫妻のように、全く知らない土地への1ターンは、仕事や生活全てにおいて不安なことも多いと思います。八幡浜市には、移住後もしっかりサポートする“定住支援員”がいます。地元の人には当然すぎて気づきにくい移住者の戸惑いや困りごとにもアドバイスができるので、気軽に相談してください。

“2人でいる時間を大切にしたい” 望みを叶えるため新天地でみかん農家へ



<プロフィール>

児嶋 隆文さん（夫） From 群馬県太田市
 児嶋 梓さん（妻）
 職業 かんきつ農家 世帯構成：夫婦
 移住時の年齢 30代



移住スタイル
Iターン
就農

家の前に流れる小川はホテルが舞う清流で、隣りの畑には野菜がたわわに実っている。畑の持ち主は「自由に採っていいよ」といつてくれるそうだ。家と会社の往復だった群馬時代より、この知り合いの方が多くなつたという隆文さん。パートで働いていた梓さんもあり。現在、梓さんはパートを辞め、一緒にみかん作業で汗を流す。



相手を思いやる気持ちと熟練農家への感謝の気持ち

思わぬ発見もあった。話す時間が増えることで、いまだにお互いの知らない面がでてくるのだ。そして、相手のことを思いやる気持ちが一層深まったという。収穫中の極早生みかんは酸味の利いたさわやかで若い味。新たな道を歩む2人のようだが、故郷の友人たちに贈るなら、もう少しあとに収穫する甘いみかんにしたいそうだ。

みかん栽培が軌道にのったら、友人たちを自宅に招きたいとも考えている。

「倉庫の2階に寝泊まりできる部屋があるんです。友人たちにみかんアルバイトでもしてもらいましょうか？」隆文さんが冗談を飛ばすと、かたわらで梓さんがコロコロ笑う。

みかん狩り経験ゼロ！からのみかん農家へ
 10月は極早生みかんの最盛期。就農して半年あまりという児嶋さんの畑でも、朝早くから小さなかわいいみかんを摘み取っていた。
 「当たり前のことなんです、こうやって1個1個、だれかの手で摘み取られたみかんを食べていたんだな」と感慨深げに話す隆文さん。群馬県出身の2人は、八幡浜に来るまでみかん狩りさえしたことなかったという。そしてわずか2年ほど前までは、みかん農家の「み」の字さえ頭になかったのだ。



オレンジ色の旗を追って八幡浜へ

小学校の同級生という2人が結婚したのは、2012年のこと。ところが夜勤の多い隆文さんは、日勤の梓さんとの生活リズムが合わず、すれ違いの毎日だった。意を決して隆文さんは転職。そこは農業資材を扱う会社だった。多くの農家や農業移住者たちとふれあううち、ふと「農業はどうだろう？」という考えが頭をよぎった。

2015年7月、軽い気持ちで東京で開催された農業移住者募集フェアに出かけた2人。群馬の近県を覗いていたが「オレンジの旗がたつブースが盛況で。満席だったのですが、たまたま席が空いたので座ったんです。」

知名度の高いみかん産地なのに、移住を募るほど人口が減っていることが児嶋さんには不思議に思えた。「果物栽培もいいな」という漠然とした考えと、海のある県への憧れから、自然と愛媛県に興味を抱くようになった。

素早い判断でチャンス逃さない
 ここから児嶋夫妻の移住・みかん農家への道は、まるで高速道路のようなスピーディーな展開だった。まずフェアの翌週、1泊2日の旅行がてら愛媛県へ。天気もよく、海沿いを走った時は「テンションが上がりました。いいところだな」と。2度目の訪問はシルバークを利用し、みかん支援隊の援助で、ホームステイとみかん栽培体験をする。

八幡浜市の真穴（まあな）地区に住む移住者の先輩も、仲間の移住者たちを集めてくれていろいろ話が聞けたという。

翌年1月、勤務先にも事情を話し10日間の日程で愛媛入り。この時は移住の気持ちが固まっていたので、作業体験に加え家探しも目的だった。ちょうどオープンしたばかりの※2みかんの里宿泊・合宿施設「マングリン」を紹介され、ここを一時の仮住まいとした。

2016年春いよいよ八幡浜へ移住。4地区をまわって体験実習を積み、自分たちにあつた土地を探した。希望は家族経営できること。条件に合いそうな双岩（ふたいわ）地区にしばらく、隆文さんは研修を続け、梓さんは農協のパートに就いた。





一方千智さんは、帰国直後にハローワークで英会話学校の講師のパートを見つけ、週に3日夕方だけ働いていた。すると、ハローワークから市内の会社が英語のできる秘書を募集しているという情報を得たので、並行して働くことに。こちらも週に3日だけのパート勤務だったのだが、まもなく英会話学校が閉校となったため、2010年5月に正式に社員として採用された。

勤務先は、米国企業と日本企業2社の計3社からなる合併企業で、ハンバーガーパティを製造している。事務部門の社員は、海外とのやりとりが多いので英語力が求められる。千智さんのキャリアを活かせる仕事だった。

会社は女性の登用に積極的で、社員を男女等しく実力で評価する。結果、現在6部門あるうち3部門のリーダー（部長）が女性で、千智さんは管理部門のリーダー職にある。

愛媛県は、全国一通勤通学時間が短い。千智さんの通勤時間も、自転車ですぐ20分ほどだ。夕方には帰宅できるが、家事は帰国当初から家にあることの多いロスさんが主に担当してくれている。ロスさんが家をあけても、近くに住む両親の手が借りられる。Uターンの有利さを存分に活かした、働きやすい環境だ。

外に出よう、楽しもう、そうすることで人の輪が広がる。休日には家族でのんびり過ごす時間ができた。九州行きのフェリーが停泊する八幡浜港を眺めながら、ボードウォークを散策する。

ロスさんの交友関係の広さは、いまや地元民である千智さんをしのぐ。近所の八百屋さんには「買い物袋を持参するのが珍しかったので、ロスさんは『エコバッグ』とあだ名をつけられたんですよ」と千智さんが面白そうに教えてくれた。

八幡浜みなのイベントの日、家族揃って芝生広場へでかけた。年間100万人が訪れるという八幡浜みなの台所だ。仲良しのクレール屋さんに立ち寄り、水揚げしたばかりの新鮮な魚が並ぶ「どーや市場」の大将から、本日のおすすめを覚えてもらう。

少女時代を過ごしたとはいえ、変貌する故郷は千智さんにとっても未知の事が多い。開拓精神あふれるロスさんと共に、千智さんも自分の世界を広げているように見えた。

愛媛には、様々なジャンルの音楽活動を行うアーティストたちがいる。ロスさんはボランティアで彼らの創作活動を手伝っている。特別な機材が無くても、持てる技術で音を生み出すロスさんのクリエイティブに学び、刺激をうけるアーティストたちは、幸運だ。

彼らが制作したアルバムには「ロス・ハンフリー」の名前が記されている。稀有な才能が、地元八幡浜に来てくれたことに敬意と感謝をこめて。

※1 ブルーマンは青い顔の3人組。ブルーマングループは、世界中で大ヒットしている、芸術性、音楽性の非常に高い、ユーモア溢れる舞台パフォーマンスのこと。

気になる移住のホンネ教えて！

Q1 お気に入りの場所はどこですか？

（千智さん）八幡浜みなの家が近く、いいお散歩コースです。八幡浜市立図書館は、子どものころにあった以前の建物の時からずっとお気に入りの場所です。（ロスさん）ミニ四国雪場巡りのできるお四国山、宮島さんは、吉岡地区にある厳島神社で海の中に鳥居があります。諏訪崎という美しい岬もお気に入りです。それからオーディオ好きのマスターがいるジャズバーも！（心ちゃん）イーグル（八幡浜ちゃんぽんの有名店）

Q2 住んでみて良かったこと、残念なことは？

（千智さん）良かったことは、家族が仲良く過ごせること。残念なことは同年代の人が少ないように思うこと。私の年代は、町を出て行った人が多く、帰ってきていないようです。（ロスさん）良かったことは、安全な町だということと、新鮮な魚や野菜が手に入ること。残念なことは、お年寄りのなかには外国人を苦手とする人がいることです。ちょっとさみしいですね。

Q3 移住を考えている人にアドバイスを

見知らぬ土地に行くときは、お試みに1週間くらい住んでみることをおすすめします。移住を決めたら、土地の人に色々学ぶこと、そして生活をエンジョイすることです。

八幡浜市
移住担当者
からひと言

かつて八幡浜は四国で最初に電灯がとまり、県内初の銀行が設立されるなど「伊予の大阪」と呼ばれた商業の町でした。今は昔の繁栄の面影が市内の古い建物などに残っている程度ですが、日本中にブームを巻き起こした「塩パン」を生み出すなど、パイオニア精神は失われていません。平地が少ないので、職場・スーパーや道の駅・小さなお子さんをのびのび遊ばせることができる緑地公園などがコンパクトにまとまっており、生活するのに便利です。県都松山市からも比較的近い立地にあり、九州とを結ぶフェリー港があることから、第2国土軸として高速道路を整備中で、今後ますます交通の便はよくなります。30代や40代の子育て中の方々にも魅力的な町だと思います。

家族だんらんを求めて移り住んだ場所で、 積み重ねたキャリアをいかす



<プロフィール>

ハンフリーロスさん（夫）Iターン
山本 千智さん（妻）Uターン
心さん（娘）

職業 英語教師 世帯構成：家族
移住時の年齢 夫 50代 妻 30代



摩天楼のそびえるニューヨークから、 東洋ののどかな港町へ

グローバル時代の昨今、国際結婚も珍しくはないが、八幡浜市に移住してきたカップルはそう多くない。道の駅八幡浜みなのことから歩いて10分ほどの、静かな住宅街に住む一家を訪ねた。

窓からわずかに漏れ聞こえる会話が英語、という他はごく一般的な民家だが、室内にさりげなく置かれた小物や家族写真の見せ方が、海外生活の名残を垣間見せる。「どうぞよくいらつしやいました」とにこやかに千智さんに招き入れられ、ロスさんとも対面。「あまり日本語うまくないんです」と、こちらの英語よりはるかに流暢な日本語で挨拶された。一人娘の心ちゃんは、現在中学1年生。テニスに夢中な女の子だ。

町の不動産屋で紹介された中で「一番キッチンが現代風だったから」選んだという住まい。無造作にかけられたスタッフ証や、大物アーティストと肩を並べて写るロスさんの写真が目をついた。

アメリカのイリノイ州生まれのロスさんは、サウンドエンジニアのキャリアを持つ。耳慣れない職業だが、アーティストのアルバム制作やライブなどには欠かせない、より良い音“をデザインして創りあげる技術者で、サウンドデザイナーと呼ばれる。業界での評価も高く、ニューヨーク・オフブロードウェイのブルーマングループのプロジェクトに、サウンドデザイナー＆サウンドエンジニアとして参加していた。

八幡浜市出身の千智さんは、1995年に大阪の大学を卒業後、仕事でニューヨークへ渡った。ロスさんとは、ルームメイトの友人として知り合い、2004年に結婚。心ちゃんを出産後は、育児に専念した。

ブルーマンのショーやツアーは世界規模。千智さんも心ちゃんを連れて、3か月ごとにショーの立ち上げのため、トロント、ラスベガス、ロンドン、アムステルダム、ベルリンと移動した。1年のうち、ニューヨークの自宅にいられるのはわずか2〜3か

月ほどだったという。ロスさんは育児に協力してくれるが、生活はハードだった。

「ニューヨークは物価も高いです。それで私の親族がいる八幡浜に引っ越そうという話になったんです。」

2009年11月にワールドツアー公演の千秋楽を迎えるとロスさんはフリーとなり、12月末に一家は八幡浜へ移り住んできた。



自分のキャリアや能力を 活かせる仕事を見つける

移住当初、ロスさんは音楽の仕事で海外に行くこともあったが、家にいる時間が断然長くなった。音楽業界に身を置くならば、東京など大都市にいたほうがよさそうだが、ロスさんには、八幡浜暮らしを選んだ理由があった。「早くに両親を亡くしたので、大きなファミリーを作ったかった。ここには千智の両親や親戚たちがいます。」

アメリカの内陸で育ったロスさんには、海に面したところも魅力的だったようだ。そして62歳で米国の定年を迎え、音楽業界を引退。現在は本国からの年金を受け取りながら、八幡浜市国際交流協会の依頼で市民に英語を教えている。指導法は特に勉強したわけではなく、八幡浜で知り合いに英語を教えるうちに、自然と確立していった。地域の人たちとのコミュニケーションから生まれたオリジナルの「ロス・メソッド」だ。

移住スタイル
Uターン
就農

回り道も無駄ではない 覚悟を決めて農業の道へ



＜プロフィール＞
梶谷 晋平さん Uターン
職業 かんきつ農家
移住時の年齢 30代



非農家生まれの者が、

農業を選択することへのためらい

梶谷さんは、保内町（2005年八幡浜市と合併）出身。保内町は瀬戸内海と宇和島に面し、昔からかんきつ類の栽培が盛んだが、愛媛県で最初に電気が通り、また銀行が設立されるなど、県内の文明をリードしてきた側面も持つ。

梶谷家は農家ではないが、近所にはみかん畑があり、農家の隣人・友人・知人も多い。「昔から、農業や農家へのリスペクトは自然と身についていたと思います。」

愛媛県の地方に育った若者の多くは、高校卒業後の進路を松山市もしくは県外へ求める。梶谷さんも関西の大学へ進学し、卒業後愛媛に戻って一般企業に営業職として就職した。

あるとき、以前からお世話になっていた方に、道の駅八幡浜みなと（2013年開設）の準備期間中にオープンする「青空市」の店長をやってみないかと声をかけられた。梶谷さんは、多くの地元の人たちと触れ合える仕事に魅力を感じ、快く引き受けた。

かんきつ類や加工品の販売をしていた約2年間、のべ100人を超える農家や農協関係の人たちと関わった。今まで出会ったことのない人たちから、梶谷さんの中にあつた農業へのリスペクトや憧れが刺激され、農家への興味を持つ強いきっかけとなった。

しかし農業が簡単ではないことも理解しているため、非農家である自分にその適性があるのか？地元であるがゆえに、自信がないまま八幡浜で農業に就くことには、ためらいがあった。



しがらみのない他県で始めた農業修業

梶谷さんは、寝ても覚めても農業にどっぷりと浸れる環境をインターネットで探した。目に留まったのが、愛媛から遠く離れた長野県川上村。「日本一の高原野菜の産地」として知られているところだ。愛媛の住まいを引き払い、何の当てもなく川上村を訪れた梶谷さんは、住み込みで働かせてもらえる所を探し、飛び込みである農家を見つけた。

川上村の住民は人口約4000人のうち、約7割がレタス農家。加えて約1000人のアルバイター（外国人が8割・日本人は2割程度）がいる。レタス栽培の仕事は3月下旬～10月上旬までだが、川上村では労働力を確保するため、大地が雪に埋もれる冬の農閑期にもアルバイト料が支払われる農家もあるという。梶谷さんは、深夜はコンビニ・そして朝から夕方まではスキー場でのアルバイトをかねもちして働きながら暮らしていたという。

「誰も知り合いのいない土地ですが、地域の人は、本当によくしてもらいました。川上村の農家の皆さんは、深夜2時から収穫作業を開始し、農作業は夕方まで行います。晩御飯を食べて夜7時過ぎには村は寝静まるといった状況が半年続きました。決して楽ではありませんでしたが、レタス農業は本当に楽しく、農業の魅力に取り憑かれていきました。」そんな梶谷さんには、婿養子に入らないか？という話も2、3件あったという。川上村は休耕地や耕作放棄地が0%。したがって新たに農地を手に入れることは不可能で、新規で農家として独立することはできないからだ。

しかしこの時すでに梶谷さんは、ふるさと愛媛・八幡浜で農業をして、この村の人たちが自分にくれたことを、自分のふるさとでも誰かにしていけたらと考えるようになっていた。



愛媛のみかんが

Uターンのきっかけをつくってくれた

2016年夏の終わり、川上村のスーパで、村出身の宇宙飛行士・油井亀美也さんを見かけた。梶谷さんは、ツイッターを通じて、油井さんが宇宙での長期滞在中に、愛媛県産のみかんをスペースシャトル内で食べて、元気をもらったこと、任務を終え地球に戻った油井さんが、そのお礼にと愛媛県八幡浜市を訪れたということを知っていたので声をかけた。「油井さん！私は日本一のみかんの産地、愛媛県八幡浜市から、レタス農業のアルバイトをしに川上村にやってきました！」と。そして油井さんに「農業は大変でしょうが、ぜひ頑張ってください！」とメッセージをもらったという。

その年の暮れ、39歳のとき、梶谷さんは八幡浜市に戻った。新規就農者への支援制度は5年間あるが、45歳までと年齢の上限がきまっているので、ぎりぎりのUターンだ。

JA西宇和のサポートで、現在10件の農家が梶谷さんの研修を受け入れてくれている。

「みかんはズブの素人。これだけのみかん王国で育ったはずなのに、みかん農家の暮らしというものは、全く知らずにここまでできました。途方に暮れるように立ち尽くしてしまうようなこともあります。農家の先輩は余すことなくその全てを見せてくれます。研修生である自分は、この道ですつと頑張らされている先輩農家の皆さんに、お金をもらいながら勉強をさせていただいて、本当に恵まれている。感謝しています。」この気持ちには日々の作業で役に立つこと、そして成長していくことで返していくしかないと思に誓う。



仲間と一緒に

八幡浜のみかん畑を未来へ残していきたい



梶谷さんのように、新規就農農家を目指して八幡浜にやってきた青年たちとの交流もある。彼らは、みかん収穫期のアルバイトや農業研修者の宿泊施設として、廃校となった小学校を改修して設立された「マンダリン」で暮らしているが、梶谷さんはUターンであるため、自宅から園地へ通う。お気に入り、港が一望できる農園での作業だ。

「もちろん決して楽なことではないと思います。でも長野での生活を経て、地元で農業をしながら思い浮かぶのは、共に汗を流して働いている「同志」のこと。自分も早く、その一員として認められるよう、頑張らないか！と思いますし、日々この環境に喜びを感じています。」

JA西宇和管内では「農家がその家に後継者がおらず、もう手放そうと思っているみかん畑をJA西宇和に管理委託する」というシステムがある。通常1年～2年の研修が終わると、その園地を譲り受けて農家として自立する。それが梶谷さんの現在の目標だ。

「農業研修を受け入れてくれる農家の先輩から、梶谷くんは新しい風“期待しているよ、と言われます。そんなふうになってくれている人たちの中で、自分はどうあるべきか？を考えながら過ごしています。」

農家出身ではないが、梶谷さんは、農業を「継ぐ者」としての覚悟を、今の暮らしの中で見出そうと奮闘している。



気になる移住のホンネ教えて！

Q1 Uターンならではの悩みはなんですか？

一度出て行った者なので、また出て行くのではないかとされているかもしれません。でもそれを悩みにしても仕方ないし、自分にできることは1日1日、目の前のことに一生懸命取り組むしかないと考えています。

Q2 みかん農家の研修生として働いている中で、つらかったことは？

軽トラックの荷台のゲートをきちんと閉めていなくて、積み込んだみかんの入ったコンテナを転がしてしまったことです。たくさん失敗もしています。受け入れ農家の皆さんの懐の深さには本当に救われています（笑）。

Q3 移住を考える人にアドバイス

自分もかつては長野県への移住をしていた者として言えることですが、般に閉じこもることなく、ふれあいを大切にしてほしい。暮らしの中に飛び込んで、新しい風になってほしい、と思います。そこで長年暮らしている人だから分かることもあると思いますが、逆に、見えなくなっていることもあると思います。移住してきた人の視点は、とても貴重であると思います。移住者も受け入れる側も、お互いを大切にしていけたらいいなと思います。

八幡浜市
移住担当者
からひと言

新規就農家の支援制度には様々なものがあります。新たに設けられたり、既存の制度が改訂や終了したりしていることもあるので注意が必要です。また県、市、JAと制度の母体もさまざまです。八幡浜市の就農支援は、他の市町村と比べても充実していると思いますので、まずは一度相談してください。